

安全データシート

ページ: 1/10

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: ELASTOLLAN SP 9552 TW

バージョン: 1.1

(30770898/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 24.07.2024

1. 化学品及び会社情報

品名:

ELASTOLLAN SP 9552 TW

推奨用途: ポリマー

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: ELASTOLLAN SP 9552 TW

バージョン: 1.1

(30770898/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 24.07.2024

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づくポリマー: ポリウレタン, 安定剤, 添加剤

危険有害物質を含有しない。

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

粉塵を吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:

眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ200 - 300 mlの水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず医師の診断を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 有害性は予想されない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末, 二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

二酸化炭素, 一酸化炭素, シアン化水素, 窒素酸化物, イソシアネート
火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: ELASTOLLAN SP 9552 TW

バージョン: 1.1

(30770898/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 24.07.2024

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:
汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:
注意事項は特になし。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
残渣の場合: 掃き集めるかすくい取る。
法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

乾燥工程及び加工機器の溶解物流出口周辺では適切な換気を行うこと。

安全取扱注意事項:
注意事項は特になし。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

適切な包装容器材料: 高密度ポリエチレン (HDPE), 低密度ポリエチレン (LDPE), 紙
保管条件に関する追加情報: この情報からは、永久保存用の容器を含む設備の設計に上記の材料が適しているか推測できません。この件では材料の選択に特別な条件が適用されますが、ご要望を頂ければご連絡します。

容器を密閉して保管すること。

保管安定性:
湿気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

本品には、記載の物質は微量しか含有されていない。

ジフェニルメタン-4,4'-ジイソシアネート (MDI), 101-68-8;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.005 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.05 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度)

【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。

[手の保護具]:

手の保護は不要。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等(飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:

上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業中は、飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 粒状固体
色: 無色
臭い: 無臭
臭いのしきい値: 測定されていない。

pH:

物質/混合物は(水に)不溶性

軟化点:

> 120 °C

沸点:

この製品は、不揮発性固体である。

昇華点:

適用情報なし

引火点:	該当しない、製品は固体である。
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。
可燃性 (固体/ガス):	引火性ではない。 (EU指令92/69/EEC, A. 10)
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
自然発火温度:	> 400 ° C
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。 > 230 ° C 安定貯蔵温度を超えると熱分解が起こる可能性がある。 長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。
自己発火性:	自己発火性なし。
自己発熱性:	UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない。
SADT:	国連輸送規則クラス4.1に従い、自己分解性物質ではない。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
放射能:	輸送目的用に放射能はない
蒸気圧:	適用せず
密度:	1.1 - 1.3 g/cm ³ (20 ° C)
相対密度:	1.1 - 1.3 (20 ° C)
嵩密度:	600 - 800 kg/m ³
相対ガス密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	不溶

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :
適用せず

粘度:
適用せず

動粘性率:
該当しない、製品は固体である。

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
避けるべき条件はないと思われる。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

熱分解: > 230 ° C
安定貯蔵温度を超えると熱分解が起こる可能性がある。

熱分解: 長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

[混触危険物質]:
避けるべき物質はなし。

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の取扱い条件下で危険反応なし。
本品は、化学的に安定している。

本製品を過熱しすぎると、ガス状の分解物が発生する可能性がある。

[起こりうる熱分解物]:
一酸化炭素, 二酸化炭素, シアン化水素
イソシアネート類, 窒素酸化物

化学安定性:
本品は、化学的に安定している。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

急性毒性の評価

単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。

症状

(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

化学構造は感作作用を示唆していない。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

発がん性

発がん性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

発生毒性

催奇形性の評価:

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経皮摂取は、物質関連効果を示さなかった。この物質の反復吸入摂取は、物質関連の効果の原因にならなかった。この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

現在の知見に基づくと、環境に悪影響を与えないと考えられる。

移動性

環境区分間の輸送評価:

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:

生分解困難である。

除去情報:

生分解困難である。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生体への著しい蓄積性はない。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):

本製品は有機ハロゲンを含有しない。

13. 廃棄上の注意

再調整なしで使用可能。
 地方自治体の条例を遵守し、適切なごみ焼却施設で焼却すること。

[汚染された容器]:
 完全に空にした容器は再利用できる。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG
 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG
 Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO
 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当

Air transport

IATA/ICAO
 Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: ELASTOLLAN SP 9552 TW

バージョン: 1.1

(30770898/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 24.07.2024

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・合成樹脂類（その他のもの）

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

このBASF製品は、食品接触用途や飲料水用途、医療機器、玩具、消費財（例：皮膚に接触する製品）のような、いわゆる敏感な用途での使用を目的とした製品および成形品の製造に使用してはならない。上記の用途の製品および成形品の製造にBASFの製品を使用する場合は、BASF Polyurethanes GmbH営業担当者および製品安全部門にお問い合わせください。

16. その他の情報

トレードマークは、すべての国で登録されているわけではない可能性がある。

混合物の分類について、次の方法が、適用されている：危険有害物質の濃度レベル、試験結果に基づき、専門家の評価の後に推定。使用された方法研究は、それぞれの試験結果に記載されている。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。